

【執筆者プロフィール】 [掲載順] (所属・役職は執筆当時) <<>>は執筆担当

山本 貴之 (株)価値総合研究所 代表取締役社長 <<巻頭言>><<第4章>><<AI用語集>>

(株)日本政策投資銀行執行役員企業戦略部長を経て2017年より現職。日本政策投資銀行グループのコンサルティング会社の代表として、AI、フィンテックなどのほか、M&A経営戦略、経済・環境・不動産・地方創生などの政策立案支援に取り組む。著書に『M&Aアドバイザー』、『M&Aの「新」潮流』など。

石村 尚也 (株)日本政策投資銀行 産業調査部 産業調査ソリューション室 調査役 <<第1章>>

東京大学経済学部卒業後、(株)日本政策投資銀行入行。医療・介護系の融資・調査業務、債券運用業務、日米マクロ経済調査、日米ベンチャー調査などに携わった後、2017年より現職でデジタル分野全般を担当。Fintech、AI、ビッグデータ、AR/VR/MR、MaaS (Mobility as a Service) などが調査対象。

中村 吉明 専修大学 経済学部経済学科 教授 <<第2章>>

経済産業省立地環境整備課長などを経て2017年より現職。AI、IoTにより今後の自動車産業、電機産業がどのように変わっていくかに関心あり。専門は産業政策論、産業論。主な著書に『AIが変えるクルマの未来・自動車産業への警鐘と期待』。

井上 陽介 (株)価値総合研究所 パブリックコンサルティング第2事業部 部長 <<第3章>>

銀行系シンクタンクを経て、2003年に(株)価値総合研究所に入社。地理空間情報、オープンデータや宇宙分野における国のデータ流通・活用政策、大学発ベンチャーや研究開発ベンチャー支援に関する政策などを担当。産学官で進めるデータ流通プラットフォームであるG空間情報センターの副センター長を兼務。

坂本 広顕 (株)日本政策投資銀行 地域企画部 課長 <<第5章>>

地域における企業への融資業務や企画・調査業務などに従事。政策企画部、人事部、経営企画部、財務部などを経て2016年より現職。地域資源（古民家、食、アニメ聖地等）やスポーツを活かしたまちづくり、地域活性化・交流人口の拡大に関する調査・研究を担当している。

村形 誠治 DBJ Singapore Limited COO <<第6章>>

(株)日本政策投資銀行では、都市開発、鉄道、物流、港湾、自動車、金属産業の融資業務、海外のプライベートエクイティ投資業務、等に従事。2017年より同社のシンガポール拠点で現職。内部管理・統制の傍ら、イノベーションが進展する同国のウォッチングも行っている。

大石 英生 (株)日本政策投資銀行 設備投資研究所 所長 <<第7章>>

2016年より現職、2019年4月に(株)JERA常勤監査役に就任予定。人工知能が経済社会に与える影響のほか、フィンテックの進展などについて関心あり。